

## 日高学長 協定校・独ハレ大学を訪問

### 「教育改革は世界の潮流」

#### 本学の基本理念を説明

「社会知性」などさらに推進

日高義博学長は、5月の連休期間中にドイツのハレ市にある本学協定校のマルティン・ルター大学ハレ・ヴィッテンベルク(ハレ大学)を訪問し、ヴィルフリード・グレックシュ学長らハレ大学首脳と今後の交流やドイツの教育改革について意見を交換した。

本学と同大学は1995年11月に国際交流協定を締結。昨年ハレ大学から協定締結10周年を記念して、学長として初の訪問の要請があったが、公務の都合により延期されていた。

日高学長は5月1日にハレに到着。2、3の両日には、ハレ大学のグレックシュ学長、ラインハルト・ノイバート副学長、ラルフ＝トルステン・シュペラー博物館館長、ヨアヒム・レンチコフスキー法学部長、ハンス・リーリエ法学部教授、マンフレッド・ピックラー国際交流部長、アジア・アフリカグローバル研究部のユルゲン・パウル部長、ゲジーネ・ホリヤンティ＝ヨスト日本学教授など多数の関係者と意見交換をした。創立500年以上の歴史を持つハレ大学の歴代学長の肖像が飾られている「歴史の間」や1880年代の講義棟であるライオン棟の中に新しく設けられた大学の宝物館などのキャンパス見学も行った。

さらに日高学長は、ハレ大学VIP訪問者録に、本学創立者の建学の精神と21世紀ビジョン「社会知性の開発」について記し、本学の基本理念を説明した。

日高学長は今回の訪問について「ドイツもEUの枠組みの中で教育改革を迫られており、私立法科大学院の誕生などドイツ教育界が大きく変動しつつある。教育改革は世界的な大きな潮流であり、本学においても『社会知性の開発』『学生を基本に据えた大学づくり』を基本としたさらなる改革改善に努めたい」と語った。



▲本学の建学の精神と21世紀ビジョンを記す日高学長。左はハレ大学のグレックシュ学長とシュペラー博物館館長(後方)



▲ハレ大学の本館・ライオン棟



▲5月の陽光を浴びて…後方建物はハレ市オペラハウス

## 2006専修大学カップ

## 神奈川県学童軟式野球大会を開催

21世紀ビジョン「社会知性の開発」のもと、社会に貢献する人材育成、地域との連携、スポーツ活動の振興に取り組んでいる本学は、創立130年記念事業の一環として、地域(神奈川県)の子供たちの健全育成支援を目的に、神奈川県野球連盟と本学の主催で「2006専修大学カップ神奈川県学童軟式野球選手権大会」を8月4日から9日まで開催する(7・8日は予備日)。大学による県大会など大規模な学童軟式野球大会の主催は県内初のこと(後援＝神奈川県教育委員会・テレビ神奈川・神奈川新聞社。協賛＝川崎信用金庫・(株)モスフードサービス)。



大会会長は、日高義博学長、同副会長は神奈川県野球連盟の加藤時太郎会長が務める。開会式・準決勝・決勝・閉会式は、ともに平塚球場で行われる。大会の様子は8月27日(日)19時から21時50分までテレビ神奈川で放映される予定。

## ■概要

主催	神奈川県野球連盟 専修大学
主管	神奈川県少年野球連盟学童部
後援	神奈川県教育委員会、テレビ神奈川、神奈川新聞社
協賛	川崎信用金庫、(株)モスフードサービス
協力	ナガセケンコー株式会社、株式会社共同写真企画
大会役員	大会会長 専修大学長 日高義博 大会副会長 神奈川県野球連盟会長 加藤時太郎
開催期間	平成18年8月4日(金)～8月9日(水)
開催日程	8月4日(金)開会式 9時～12時 平塚球場(雨天決行) 8月5日(土)1回戦、2回戦 県内球場 8月6日(日)3回戦、4回戦 県内球場 ※8月7、8日は予備日 8月9日(水)準決勝、決勝、閉会式 平塚球場
出場チーム	県行政区分割代表(県下各地区代表54チーム) ※相模原市、茅ヶ崎市、平塚市、藤沢市、横須賀市は2チーム出場。
出場資格	各地区大会での優勝チームもしくは神奈川県野球連盟支部長の推薦、または本部の推薦を受けたチーム。
組合抽選	平成18年7月22日(土)主将会議にて決定。 (18時～ かながわ労働プラザ)